

事業評価手法検討部会について

目的

公共事業評価システム研究会（委員長：中村英夫 武蔵工業大学教授）において平成14年8月30日に取りまとめた「公共事業評価の基本的考え方」にある「課題への対応」について、評価方法等に組み込むために解決すべき課題を抽出・整理し、技術的手法等をまとめる。

具体的な検討課題は以下の4つ。

- 再評価における既投資額や中止に伴う追加コストの取扱い
- 事業分野間における評価指標等の設定の考え方の整合性確保への対応
- 将来の不確実性への対応（主に感度分析）
- カストロフィックなリスクの評価（防災事業のリスク評価）

委員

部会長	森地 茂	東京大学大学院工学系研究科社会基盤工学専攻教授
委員	家田 仁	東京大学大学院工学系研究科社会基盤工学専攻教授
	上田 孝行	東京工業大学開発システム工学科助教授
	太田 和博	専修大学商学部教授
	大野 栄治	名城大学都市情報学部教授
	小林 潔司	京都大学大学院工学研究科教授
	林山 泰久	東北大学大学院経済学研究科助教授
	森杉 壽芳	東北大学大学院情報科学研究科教授
	山内 弘隆	一橋大学大学院商学研究科教授

（敬称略）

（五十音順）

： 印は公共事業評価システム研究会委員（別添2参照）

開催状況

第1回（平成14年10月30日）

「技術的指針」検討に当たっての論点整理

第2回（平成14年12月18日）

事業分野間における評価指標等設定の考え方の整合性の確保への対応(案)

再評価における既投資額や中止に伴う追加コストの取り扱いについて(案)

第3回（平成15年 2月 3日）

事業分野間における評価指標等設定の考え方の整合性の確保への対応(案)

再評価における既投資額や中止に伴う追加コストの取り扱いについて(案)

将来の不確実性への対応(案)

第4回（平成15年 3月18日）

事業分野間における評価指標等設定の考え方の整合性の確保への対応(案)

将来の不確実性への対応(案)

防災事業のリスク評価(案) 等

第5回（平成15年 5月16日）

公共事業評価の費用便益分析に関する技術指針(仮称)(案) 等